



## 国土美化に関する米国大統領の 教書の概要

犬 飼 哲 夫 抄

一九六五年三月三十一日に、アメリカ合衆国大統領ジョンソン氏が国会宛に出した国土美化に関する教書がある。日本では政調観光資料第二号として、国会の自民党政務調査会、観光事業特別委員会および国土美化小委員会が共同で、その原文（英文）と日本語訳を発表した。

自然保護の運動は、いまや世界的な問題となってきたことを示すもので、今後のが国の自然保護のあり方について、この教書は参考となることが多いゆえにここにその内容の要点を紹介することにした。

アメリカにおいても、他の国々と等しく幾世代にわたって愛護されてきた先代の遺産である自然が、わずか数十年間に

荒廃の脅威にさらされている。急速な都市化によって国民が適当な環境に生活する権利が奪われ、大自然から隔離されている。近代的な高速道路は、一マイル伸びるごとに二十五町歩の公園に相当する地域を消滅させている。諸工場が無統制に排出する残滓は国民の健康を害し、大気、水、土壌、野生の動物は害を受けている。

この責任は、工業の恩恵に浴している社会が負うべきである。このために国は自然を保護し、破壊されたものを復元し自然の美と魅力をとり戻さなくてはならない。

自然美は数值的に測り難いものであるが、精神的活力を与えることでは無視できない。もちろん健康にとっても、きわ

めて必要である。国民全体が自然に関心をよせて、固い決意で善処しなければならぬ。

いままでにわれわれはこれに対して注意を欠き、ときにはむしろ怠惰であったが、このまま放置すれば全樹木の枯死も免れないであろう。過去においては、森林や河川の管理に国会および行政官庁は大きな業績を残してきたが、今後もこのような歩みはつづけたい。自分(大統領)は、この際つぎの事項につき提案する。

都市——都市にはアメリカの近代文化が、今後何年にもわたって集中する傾向にある。都市に僅かな公園や遊び場を設けるだけで、集中化の悪弊は除かれるものではない。建物、道路の整備、歴史的記念物の保存、新郊外計画などのあらゆる面で美の高揚を心得るべきである。現在大都市地域の住民のために、レクリエーションと自然美のある地域をつくり出す計画が進行している。

都市に対しては空地計画の場所を確保し整備する補助金を認めただが、さらに都市の風致の生成、外灯やベンチの設置、商業地域にも魅力ある都市美の創造を奨励すべきである。国内のあらゆるところで、国民は美しい景観や史蹟を残そうと努力しているが、政府も援助の手をさし

のべることを忘れてはならない。

田舎——現在わが国が恩恵をうけている公園、海浜、レクリエーション地域の施設は人口の増加により需要が追いつかない。大統領は、つぎの十二の土地を獲得するために基金の利用を提案する。

四つの海岸公園、一つの湖岸公園、五つのレクリエーション地域、二つの国立公園(名称の詳細は省略)。

さらに、レクリエーション地域を特に人口の多い東部の国有林野制度に導入することを勧告し、荒地制度を定義づけ、渡り水鳥の保護制度の普及を進める。無計画な森林伐採、土地の掘穿をいましめ私有田園地帯の美化を高揚する協同計画の推進を要望する。

高速道路(ハイウェイ)——米国は世界一の自動車国で、日常生活、慰安に自動車を利用しているため、ハイウェイの自然美を整備することにより生活を豊かにすることができる。しかし、ハイウェイのあり方には二つある。その一つは道路そのものが自然を破壊することがないこと、他は道路をレクリエーションや慰安の手段とすることである。美観を害するハイウェイ沿いの醜悪な廃棄物の集積所はとり去るべきである。またハイウェイの美化のために、植樹とか風致地域の

保護をなすことを望む。

河川——河川は自然物として力強さをもち、伝説、神話、文学などの民情の中心をなす。米國は河川の産業的利用に力をそそいできた。しかし河川の水を産業目的で保護する必要があるが、人為的に河川の自然美を破壊する前に、雄大な河川の景観の保存を図る時期がきている。大統領は、全國の未開發河川制度を制定するつもりである。

ポトマック河——米國の首都を流れるこの河は清掃し、ボート、水泳などに利用可能にし、景観地域を指定し自然美を保護する。レクリエーション施設、両岸のパークウェイをつくる計画を進め、これにより各都市の河川美の保全の模範たらしめる。

徒歩道——戸外の徒歩、ハイキング、乗馬、自転車の価値を忘れていない。徒歩道はハイウェイ同様に必要で、老若ともに利用できる。米國の国有林野および公園内に、一万マイルの徒歩道をつくることを要望する。各地で徒歩道の計画があり、鉄道線路を徒歩道に利用しているところさえある。

汚染——この二十年来、塵芥がアメリカ人をいちじるしく脅かしている。農工業、科学の副産物がおびただしい。汚染

は急速に進み、自然の美を破壊し、人体の健康を脅かしている。大気や水路の汚染も甚だしく、文明は有害物を放出する結果となり、自動車だけでも、毎日三千万トンの汚染物を排出する。大気の汚染で病人や死亡者の数が急激に増加している。ロスアンゼルスでは、八百万の人口の四分の三が一年間にはげしい眼病に悩まされた。水の汚染で魚類の斃死は続出している。これらは仕事の能率を弱め、結局は國民の税金の増加となる。

連邦政府（中央政府）は汚染防止の方策を指導し、河川の浄化、大気の浄化、廃物の処理、化学薬品の使用の抑制の強化、調査財源のねん出などで、本年五月に大統領官邸で自然美に関する會議を催す予定である。

アメリカは天然および人工資源の保護をなし、未利用資源の利用により國民の重荷を軽減してきたが、往々にして自然の恩恵には不注意であった。このため多大の代価を支払わざるを得なかった。アメリカには豊富な美しい天然資源がありその保護は人間精神の内的繁栄と結びついている。祖先から受けついだ美を再建しとり戻すなら、米國は魅力のある國となるであらう。

（北大・名誉教授）